

富山県庁舎本館の利活用に係るサウンディング 概要

1 サウンディングの目的

富山県庁舎本館は昭和 10 年の竣工から築 90 年を迎え、耐震性はあるものの老朽化が進んでいます。一方で知事室やかつて貴賓室だった特別室には当時の内装が残るなど、昭和初期を代表する近代建築物であり、平成 27 年には国の登録有形文化財に登録されています。

また、県庁舎は富山駅と商店街地区の中間地点に位置し、周辺の県有地等も含めたエリアとしてみた場合に、このエリアの価値や魅力を向上させることで両者の連続性・回遊性が高まり、賑わいの創出につながるため、今年度から県庁舎を含めた県庁周辺県有地等の有効活用についての検討が始まったところです。

参考

[富山県／県庁周辺エリアの利活用](#)

<https://www.pref.toyama.jp/documents/47621/conceptbook.pdf>

このエリアの核となる県庁舎自体のあり方についても、別途、多角的な観点から検討を進めていきますが、今回のサウンディングは、将来的に県庁舎をまちに開かれた賑わい拠点として活用することを見据えて、その可能性や手法、民間活用のための条件等を把握することを目的として行うものです。

なお、利活用の具体的方向性や民間活力導入の有無、利活用を行う範囲などについては、現時点で未定であり、今後のありたい姿の実現に向けて民間事業者の具体的視点で幅広くご意見をいただきたいと考えております。

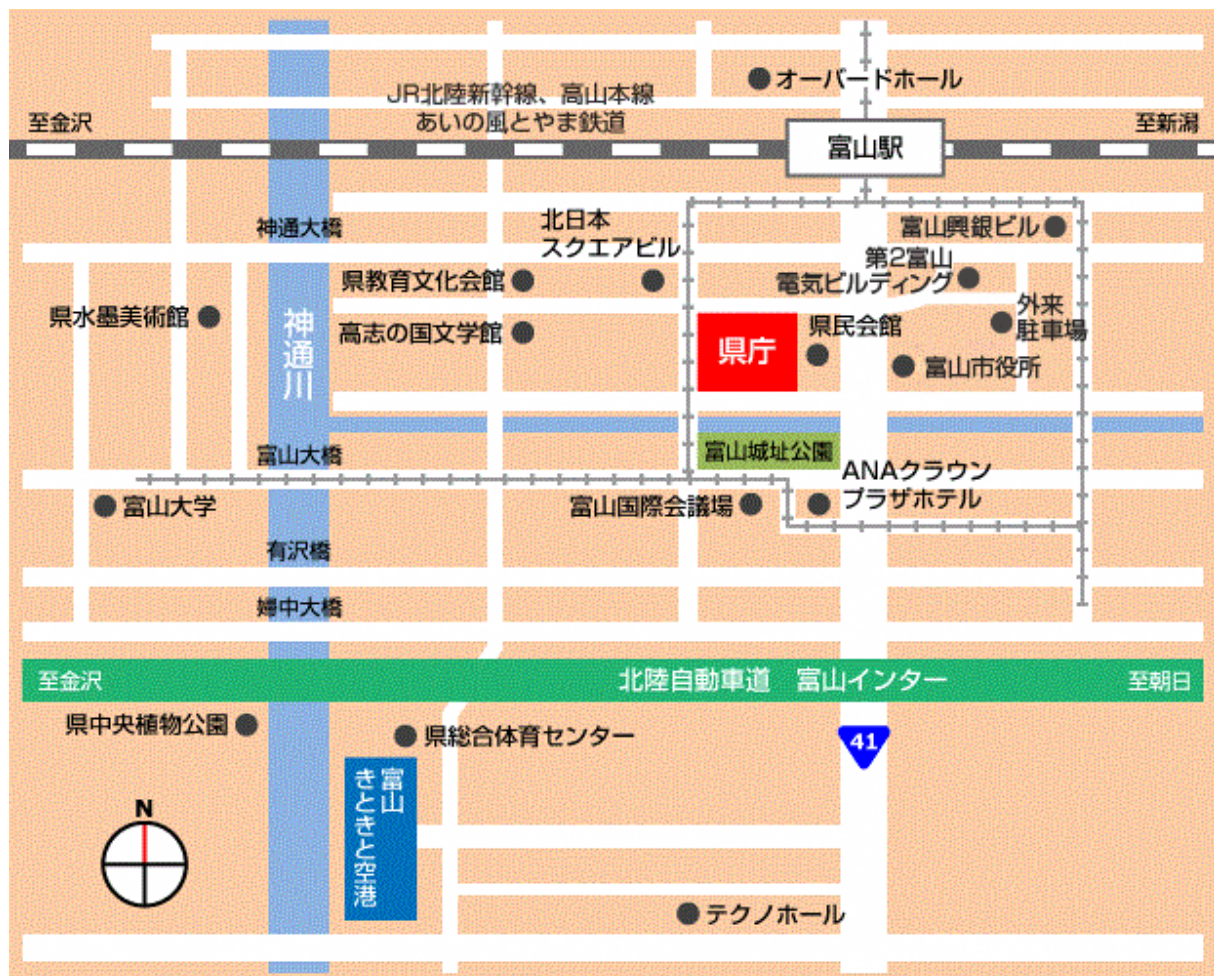
2 対象施設の概要

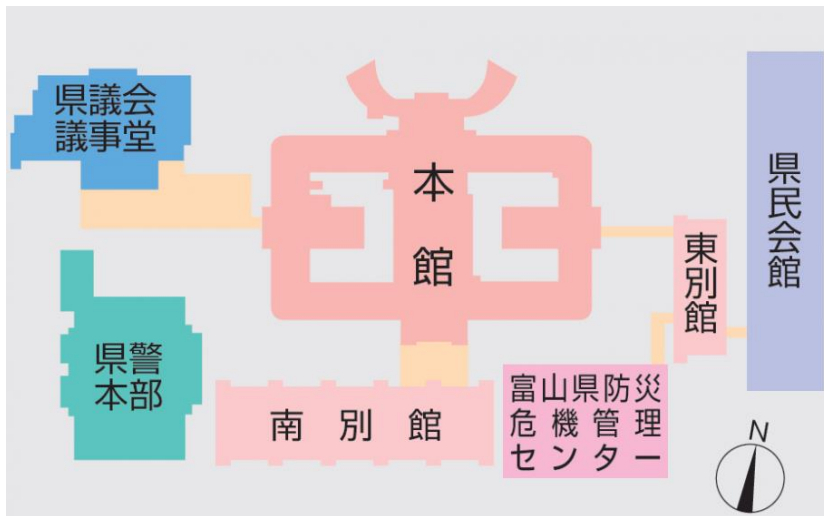
(1) 所在地・施設概要等

所在地（交通情報含む）	富山市新総曲輪 1-7 ○JR 富山駅（南口）・電鉄富山駅から ・徒歩で：約 10 分（850m） ・市内電車で：「富山駅前」乗車、「県庁前」下車 ・地鉄バスで：「富山駅前」乗車、「市役所前」下車 ○北陸自動車道富山 I.C. から ・国道 41 号線を車で北へ約 15 分 ○空港から ・バス（富山駅前行き）またはタクシーで約 20 分
-------------	---

敷地面積・延床面積	延床面積 15191.24 m ² 建築面積 3937.86 m ²
既存建物の概要	建築年月日：1935 年 8 月 30 日（築 89 年） 耐震対策：平成 16, 17 年耐震補強 構造：鉄筋コンクリート造 地上階数：5 階
土地・建物の所有者	富山県
周辺の環境	県庁舎は、北陸新幹線開通（2015 年）や路面電車南北接続開業（2020 年）を契機に商業投資が活発に行われ、日常的に賑わいイベントが行われている富山駅と再開発事業による新陳代謝が積極的に行われている商店街地区の中間に位置する。市役所や企業が立ち並ぶオフィス街の中心であり、近隣には県庁前公園や富山城址公園、松川など緑や水辺の環境が充実している。

（２）位置図





(3) 写真



(4) 県庁舎紹介動画

[あなたの知らない富山県庁舎の世界 - YouTube](#)

3 民間事業者に対する質問事項

- ・歴史ある県庁舎本館をまちに開かれた賑わい拠点として複合的に活用するためには、どのようなコンテンツが必要と考えられるか。
- ・官民連携による整備、運営も考えられるが、リノベーションコストやランニングコストの削減の観点からご意見をお聞かせいただきたい。

- ・民間収益事業の参入も考えられますが、どのような事業内容、形態が望ましいと考えられるかご意見をお聞かせいただきたい。
- ・仮に貴社が県庁舎本館を活用する事業に関わることを想定した場合、県に求める条件等についてのご意見をお聞かせいただきたい。
- ・県庁舎の利活用のポテンシャルの有無（立地・施設など）についてのご意見をお聞かせいただきたい。
- ・県庁機能エリアと利活用エリアが共存できるかどうかのご意見をお聞かせいただきたい。
- ・県庁舎を民間に賃貸する場合の賃貸料についてご意見をお聞かせいただきたい。

4 その他

- ・エントリーいただいた皆様には、当日説明予定の概要資料を後日、お送りいたします。